

# 授業科目 NO. 804 助産学方法論 I

## (助産診断技術学：妊娠期)

Midwifery I (Diagnosis and Techniques: Pregnancy Period)

授業の形態：講義  
単位数(時間数)：2単位(30時間)  
開講年次・学期：3年次・後期  
必修・選択の別：選択・助産師選択コース必修  
キーワード：妊娠期、妊婦健康診査、助産診断、助産ケア

### 1 金沢医科大学看護学部の到達目標 (全科目共通です)

- ① 豊かな人間性と倫理観
- ② 看護学の知識と技術、及び実践力
- ③ 地域志向を視野に入れた専門性の獲得
- ④ 生涯学習能力
- ⑤ 国際的視野の獲得

### 2 学習目標

#### 1) 一般目標 (GIO)

妊婦の身体的・心理社会的状態を理解し、妊娠期の助産診断を行うことで、正常・異常の妊娠経過・妊婦のニーズに応じた支援を考察することができる。

#### 2) 行動目標 (SBO) ※カッコ内の数字は上記の金沢医科大学看護学部の到達目標との関連を示す。

- (1) 妊娠各期の身体的・心理社会的特徴が説明できる。(②)
- (2) 妊婦健康診査の必要性とその内容について説明できる。(②)
- (3) 妊娠期の助産診断を行い、妊婦のニーズに応じた助産ケアと予防的支援、保健指導計画を立案し評価できる。(②③)

### 3 学習内容

授業の内容については、授業計画に示す。

## 4 評価

評価項目	評価割合
定期試験成績	40%
実習成績	
レポート	30%
授業態度	
小テスト	
口頭試問	
その他	30%
合計	100%

(特記事項) 課題 (事例展開・実践) 30%

## 5 教育担当者

科目責任者 : 山崎 智里

准教授 山崎 智里 (母性看護学・助産学)  
 講師 三反崎 宏美 (母性看護学・助産学)  
 助教 林 智美 (母性看護学・助産学)  
 助手 大嶋 舞香 (母性看護学・助産学)

## 6 教科書

- 1) 森 恵美 (編) : 助産師基礎教育テキスト 第4巻 妊娠期の診断とケア、日本看護協会出版会
- 2) 小林康江 (編) : 助産師基礎教育テキスト 第7巻 ハイリスク妊産褥婦・新生児へのケア、日本看護協会出版会
- 3) 平澤 美恵子他 (監修) : 新訂版写真でわかる助産技術アドバンス、インターメディカ
- 4) 北川真理子、内山和美 (編) : 今日の助産 マタニティサイクルの助産診断・実践過程、南江堂

## 7 推薦参考書

- 1) 公益法人 日本産科婦人科学会、公益法人 日本産婦人科医会 : 産婦人科診療ガイドライン 産科編 2020、公益法人 日本産婦人科学会事務局
- 2) 井上裕美他 : 病気が見える Vol.10 産科、Medic Media
- 3) 藤井知行 (編) : 週数別 妊婦健診マニュアル第2版、医学書院
- 4) マースデン・ワグナー著 : 井上裕美他訳 : WHO 勧告にみる望ましい周産期ケアとその根拠、ディカ出版
- 5) 我部山キヨ子、大石時子 (編) : アセスメント力を磨く 助産師のためのフィジカルイグザミネーション 第2版、医学書院

## 8 準備学修に必要な時間及び具体的な学習内容

- 1) 授業 1 コマにつき、事前学修・事後学修として計 180 分程度必要である。

- 2) 基礎となる母性看護学で学修した妊娠期に関する知識—特に妊婦健康診査に関わる知識の復習を行っておくこと。また、助産診断立案過程で必要となる知識は教科書、推薦参考書等を基に幅広い知識を得ることが必要である。学修内容はノートにまとめ、理解できない内容については、教員の指導を受けて学修を進めること。また、授業の進め方や学修内容については授業毎に説明する。
- 3) レポート作成過程においては、計画的に教員の指導を受けること。
- 4) 妊娠期の診断及びケア等の実施に必要な知識について、
  - ・公益社団法人 日本産科婦人科学会、公益社団法人 日本産婦人科医会(編)産婦人科診療ガイドライン 産科編 2020 ([https://www.jsog.or.jp/activity/pdf/gl\\_sanka\\_2020.pdf](https://www.jsog.or.jp/activity/pdf/gl_sanka_2020.pdf))
  - ・エビデンスに基づく助産ガイドライン—妊娠期・分娩期・産褥期 2020 ([https://www.jyosan.jp/uploads/files/journal/JAM\\_guigeline\\_2020\\_revised20200401.pdf](https://www.jyosan.jp/uploads/files/journal/JAM_guigeline_2020_revised20200401.pdf)) にアクセスして、コンセンサスが得られた適正な標準的助産診断・管理法を理解し、ノートにまとめておくこと。

## 9 課題（試験やレポート等）に関するフィードバック

- 1) レポートについては、作成過程及び提出後に直接コメントしてフィードバックする。
- 2) 課題（事例展開・実践）に関しては、評価表を基に到達度や課題をフィードバックする。

## 10 履修上の注意事項

- 1) 事前学修をしっかりと授業に臨むこと。
- 2) 作成したレポートは、実習時に活用するので、整理しておくこと。

## 11 オフィスアワー等

質問は毎回授業終了後に受け付けるが、事前にメール等で都合を確認することが望ましい。  
山崎 E-mail : [chisasa@kanazawa-med.ac.jp](mailto:chisasa@kanazawa-med.ac.jp)

第3学年

助産学方法論 I

学期	回数	開講日	時限	区分	講義・実習内容	レポート/小テスト等	講座・科目群名	教員名
後	1	1月10日(水)	1	講義	妊娠期の助産診断について1		母性看護学・助産学	山崎准教授
後	2	1月10日(水)	2	講義	妊娠期の助産診断について2		母性看護学・助産学	山崎准教授
後	3	1月15日(月)	2	講義	事例第1期:助産過程の展開1		母性看護学・助産学	山崎准教授,林助教, 三反崎講師,大嶋助手
後	4	1月15日(月)	3	講義	事例第1期:助産過程の展開2		母性看護学・助産学	山崎准教授,林助教, 三反崎講師,大嶋助手
後	5	1月17日(水)	1	講義	事例第1期:助産過程の展開3		母性看護学・助産学	山崎准教授,林助教, 三反崎講師,大嶋助手
後	6	1月17日(水)	2	講義	事例第1期:助産過程の展開4		母性看護学・助産学	山崎准教授,林助教, 三反崎講師,大嶋助手
後	7	1月22日(月)	2	講義	保健指導案の作成1		母性看護学・助産学	山崎准教授,林助教, 三反崎講師,大嶋助手
後	8	1月22日(月)	3	講義	保健指導案の作成2		母性看護学・助産学	山崎准教授,林助教, 三反崎講師,大嶋助手
後	9	1月24日(水)	1	講義	保健指導案の作成3		母性看護学・助産学	山崎准教授,林助教, 三反崎講師,大嶋助手
後	10	1月24日(水)	2	講義	保健指導案の作成4		母性看護学・助産学	山崎准教授,林助教, 三反崎講師,大嶋助手
後	11	1月29日(月)	2	演習	妊婦健康診査準備1		母性看護学・助産学	山崎准教授,林助教, 三反崎講師,大嶋助手
後	12	1月29日(月)	3	演習	妊婦健康診査準備2	レポート	母性看護学・助産学	山崎准教授,林助教, 三反崎講師,大嶋助手
後	13	1月31日(水)	1	演習	事例第2期:妊婦健康診査(保健指導)の実施1	課題(事例展開・実践)	母性看護学・助産学	山崎准教授,林助教, 三反崎講師,大嶋助手
後	14	1月31日(水)	2	演習	事例第2期:妊婦健康診査(保健指導)の実施2	課題(事例展開・実践)	母性看護学・助産学	山崎准教授,林助教, 三反崎講師,大嶋助手
後	15	1月31日(水)	3	演習	事例第2期:妊婦健康診査(保健指導)の実施3, 評価	課題(事例展開・実践),レポート	母性看護学・助産学	山崎准教授,林助教, 三反崎講師,大嶋助手